令和５年　第８号
会津美里町立新鶴中学校だより
令和５年　８月３１日
発行者　校長　本多　康弘

千歳桜

～豊かな心を持ち，自己の可能性を拓く新中生～

２学期がスタートしました～来週は駅伝大会～

いよいよ２学期がスタートしました。生徒の明るい笑顔と元気な声が学校に戻ってきました。始業式の後，各学年の代表生徒が夏休みを振り返りながら，２学期の目標を発表しました。また，夏休み中も新鶴中生徒の活躍が光りました。

【東北中学校陸上競技大会】
　共通女子四種競技出場　３年　渡邉　莉音さん
【福島県中体連大会バドミントン競技】
　男子シングルス　ベスト８　３年　千代　直輝くん
　女子シングルス　出場　　２年　若杉梨央奈さん
【少年の主張会津美里大会】
　最優秀賞　３年　唐澤　幸菜さん
　最優秀賞　３年　遠藤　麻衣さん
　優秀賞　　２年　大堀　紗弥さん
【耶麻・両沼小中音楽祭】
　優良賞　　新鶴中学校
【両沼英語弁論大会】
　暗唱の部　１年　荒家　清芽くん
　暗唱の部　１年　河原田沙和さん

暑い夏でしたが，朝晩の気温差も少しずつ感じられるようになりました。まだまだ暑さが続きそうですが，身近な風景も緑から黄色へ移り変わりだして秋の訪れを感じさせています。

夏休みは，「自分自身の目標を振り返り，何か一つでも頑張ったことを残す」ことができる時間でした。もちろん結果だけがすべてではありません。努力したことが大きな財産なのです。そして，どのくらい取り組んだのか，どんな取り組みだったのかなど自分自身を見つめ直すことが重要です。振り返りながら，どうあればいいかを考え，実行することがとても大事であり，自分自身を自分自身で導くために必要なことです。いわゆる自己マネジメント力の育成です。

人生は，一度きりです。だれも未来を経験することはできません。仮に人生のナビゲーションシステムがあったとしても，一人一人の人生ですから最終的には，自分自身で自分の歩みを進めることになります。

しかし，目標に対してどうすればいいかわからないという場合もあるでしょう。そこで，大切なのが友達や先輩・後輩，保護者，先生など，たくさんの方々が協力者でいることに気づくことです。時にぶつかり合いもあるかもしれませんが，支え，支えあいながら生徒は成長していくのです。

この２学期は，大きな学校行事もたくさんあります。学習はもちろんのこと，様々な行事を通して，集団活動の意義を理解し，個性の伸長を図り，社会で生きていくための自覚を深めるなど，体験のなかで学ぶことがたくさんあります。このような体験をとおして，自分と仲間の相互に力を高めあい，自身の研鑽や努力ができる生徒になってほしいと思います。

小中一貫にかかる教育目標について

次年度より小中一貫教育を進めるにあたり，児童生徒とその保護者，教員を対象に１学期末にアンケートを行いました。その結果を持ち寄り，夏休み中に小学校・中学校の先生方で教育目標や学習指導や生徒指導などについて話し合う機会を持ちました。

２学期からは，出前授業や職場体験，小中連携事業などについて実践していく予定です。（裏面にその一部を掲載します。ご協力ありがとうございました。２学期末頃に決定の予定です。）